

ほいく誌ファン No.64

今回のほいく誌ファンは、第2回ほいく誌交流会と第2回ほいく誌普及拡大会議の様子や連絡なども併せた内容となっています。

第2回 ほいく誌交流会

2023年1月28日（土） 19:30～21:00 Zoom

ほいく誌交流会を初めて土曜日の夜に実施しました。参加は27名で、普段参加できない保護者の方々も参加して下さいました。

【主な内容】

テーマ：11月号特集「子どもとインターネット」を読んで、
いろいろな学童保育のなかまと交流しましょう！

- ☆読み合わせ
- ☆グループ交流（グループA～Dの4Gr）
- ☆グループ報告
- ☆まとめ、連絡事項、アンケート

【交流会の目的】

★参加者同士が交流することで、新しい出会いや気づきがあります。ずっと同じ学童で子育てをしていたり、働いていたりと、どうしてもコミュニティが狭まってしまふことが多くなります。しかし、交流会に参加することで新しい世界を知る第一歩にもなり、普段聞けない新鮮な話を聞けるので、刺激にもなります。

★主に「日本の学童ほいく」の記事から事例などをピックアップすることで、他学童や他地域のおやつや遊びを知るきっかけに。また指導員の仕事や役割、色々な地域の保護者の学童保育への思いや考え方なども分かります。そして「日本の学童ほいく」誌の活用とともに、購読拡大にも繋がります。

読み合わせ 11月号 P.10～15

【特集】知って・学んで・考える - 子どもとインターネット -
どうしてる？ 子どもとインターネットのつきあい方



【ほいく誌ファンとは】

県内各地で行われている『日本の学童ほいく』の普及・拡大活動を紹介し、みなさんの地域での活動に活かしてもらうための情報紙です。
※文中の「ほいく誌」は、月刊誌『日本の学童ほいく』のことをあらわしています。
ほいく誌の購読料391円/冊（定価）は、約2/3が全国学童保育連絡協議会の制作費や活動費に、約1/3が還元金として愛知学童保育連絡協議会の収入の一部となり活動費に充てられ、活動を支えています。

A: 今後ルールが必要。親が分かるように勉強が必要であると思う。

C: 大人はネットを好きなだけやってもズルいと言われない。やるべき事をやっているため。履歴を確認、フィルタリングなどルール決めしている。知っている子どもと知らない子どもの格差がある。

グループ報告

B: 環境が整っていないところも。名古屋市はタブレットで連絡やお知らせ、宿題。抜け道でゲームなどもできてしまう。オンライン授業をしている小学校も。時間ごと、平日や休日の違いはある。色々、聞いて良かった。

D: ネット環境にも違い、教育方針によって様々なため、親自身も情報を把握していると教えやすいと思う。

ほいく誌交流会に参加して (アンケート結果から抜粋)

- ・名古屋市のタブレット学習の普及に驚きました。インターネットと子どもの関わり方も、機器の設定、使用時間、責任など、いろいろな面で親がしっかり確認してから、子どもに触れさせる必要があると感じました。
- ・ネットとの付き合い方について色々試行錯誤していることがわかりました。
- ・インターネットは今後も非常に重要なツールなので、親子で一緒に学んでいきたいです。
- ・他の方の家のルールや使われた方は参考になりました。自由な家に引っ張られるとの感想は考えさせられました。
- ・たくさんの人と交流することができて良かったです。



参加は22名で、地域目標を振り返りながら、来年度の目標設定などを話し合いました。また各地域の保護者会の実施状況や学童の良いところについても交流を行いました。

【 主な内容 】

- テーマ：地域目標を一緒に考えよう！ ～ 2022年度の地域目標を振り返りながら ～
- ☆地域目標の結果
 - ☆全体の意見交換
 - ☆来年度の目標設定、担当者選出のお願い
 - ☆読み合わせ

地域	結果も含めたコメント
北区	区連協会議の時に、面白そうな記事をピックアップして提案。保護者会内で時間を取れない時もありましたが、以前よりは積極的に活動できました。今後もほいく誌に興味をもってもらえるように活動していきたい。
昭和区	毎月ではないが、ほいく誌の読み合わせの時間を作ってもらいました。
瑞穂区	区連協会議の時に呼びかけを行ったのち、各学童へ伝達しました。（書面、Lineグループで案内） 「どういったものか知ってもらおう」ハードルが高いと感じていました。読む時間を作るのもなかなか大変だと思いました。
熱田区	保護者会で取り上げ、見本誌を配布したが、購読数の増加等の結果にはつながりませんでした。（読み合わせは未実施）
中川区	オススメ記事を輪番で選んで読み合わせを実施しました。認知度の向上の為に、区内の学童の1・2年生保護者に輪番で参加してもらい、ほいく誌の紹介をしました。
守山区	区連協会議内で記事を1つ選んで紹介しようと考えていたが、今年度は会議内で時間を作るのが困難でした。
緑区	入所予定の家庭への活用情報は挙がってきていません。学童でのほいく誌の実際の活用状況等を区連協内で情報共有をしていなかったのも、もっとすれば良かったです。
天白区	上半期の区連協内で「せめて目次だけでも(どんな記事があるとか)見てみてね」と声掛け。冒頭のカラーページ等を会議前の待ち時間の間に目を通してもらえるようになりました。読み合わせの時間の創出までは至りませんでした。
豊橋市	増やしたいとは思っていても、役員会運営委員会で読み合わせして紹介しても、なかなか購読しますと手が挙がることはありませんでした。個人的に声掛けすると購読を検討して頂ける方もいらっしゃるのでは、継続してやっていきたい。
豊川市	運営委員会で読み合わせを実施しました。（前もって記事を決めておいて感想を伝えあうというやり方です。）来年度は、新入所世帯に見本誌を配布する予定です。
津島市	毎月の市連協定例会で、司会担当の人が記事をピックアップしてタイトルと感想を共有するという活動やクラブ内で指導員の協力を得て、子どもに関する記事(クイズ・絵)に取り組み、掲載された際に紹介もしました。 津島学童ニュース(年4回発行)とともに市役所やショッピングモール、保育園・幼稚園等に見本誌を配布しました。



ほいく誌 普及拡大会議に 参加して

- ・各学童での活動状況を共有できてよかったです。会長さんの話からも収益が非常に重要ということがよく分かりました。
- ・「こういう風なやり方で購入・購読増につながった」という話のやり取りがもっとあっても良かった。
- ・保育誌普及の必要性を理解し、各学童の取り組みを参考にしながら普及活動を継続していきたいと思いました。
- ・がんばっていただいていることはわかったが、結果に結びついていないのが残念でした。

日本の学童 ほいく誌への 意見

- ・ほいく誌の電子化を希望です。電子版であればスマホ、タブレットで手軽に読みやすくなると思います。



↑ほいく誌普及拡大会議の一場面

今後の普及 拡大会議や 交流会に ついて

- ・今後も土曜日の夜などに実施してもらえると、参加できる保護者が多くなると思います。

お願い

★各地域の取り組み目標に対して、**まとめの提出と目標の設定が未提出の地域**がありますので、提出をお願いいたします。